

# 予算

平成  
22年度

平成22年度の福津市の予算が、先に開催された3月議会定例会で議決されました。地方自治法の規定に基づき、その概要をお知らせします。

	予算額	前年度比(%)
一般会計	199億6,065万2千円	7.1%
特別会計	129億 537万4千円	3.4%
合計	328億6,602万6千円	5.6%

※特別会計の額は、7会計の予算額の合計です。

## ◎ 計画的な予算措置と 持続可能な財政運営の確保

今年度の予算は市政運営の指針である「総合計画」や「行財政改革大綱」および昨春秋に策定した「中期財政見直し」に基づき、計画的な予算措置と持続可能な財政運営の確保を目指した予算の編成としています。

総合計画に掲げる「人を、明日を、誇るまち。福津。」の実現に向けて、人件費の削減や施設の整備手法の見直し、国・県からの補助金などの活用可能財源の確保、ランニングコスト意識の徹底、補助金の見直しなど、行財政改革に沿って予算化しています。

また、平成二十年度に実施したすべての事務事業について行政評価を行い、事業の妥当性や効果の検証を実施し、効果や効率性に乏しいものについては廃止・統合するなど、事業の見直しを積極的に進めています。

## ◎ 一般会計は前年度に 引き続き増額

今年度の一般会計予算は、前年度と比較して十三億千四百八十万六千円、七・一%の増額となりました(グラフ1)。

### 一般会計歳入(グラフ2)

一般会計歳入のうち自主財源である市税は前年度比一億六百三十万一千円、二・〇%の減額を見込んでいます。これは、固定資産税については、新興住宅地の整備などにより前年度比二千八百二十三万二千円、一・三%の増額となりましたが、今般の不況の影響により個人市民税が前年度比一億三千六百四十四万四千円、五・一%の減額、法人市民税が前年度比五百二十六万六千円、二・六%の減額となったことなどが挙げられます。

依存財源のうち地方交付税は、前年度に比べ三億円、七・四%の増額を見込んでいます。国庫支出金は五億五千六百八十二万二千円、二・〇・五%の減額を見込んでいます。これは前年度まで交付されたまちづくり交付金がなくなったことなどが挙げられます。

また、県支出金については、駅東地区に新たに新設する保育所の整備に

一般会計歳出は、総合計画に掲げる分野別目標像ごとに主な内訳を紹介いたします(四ページの表1を参照)。

### 一般会計歳出(グラフ3・4)

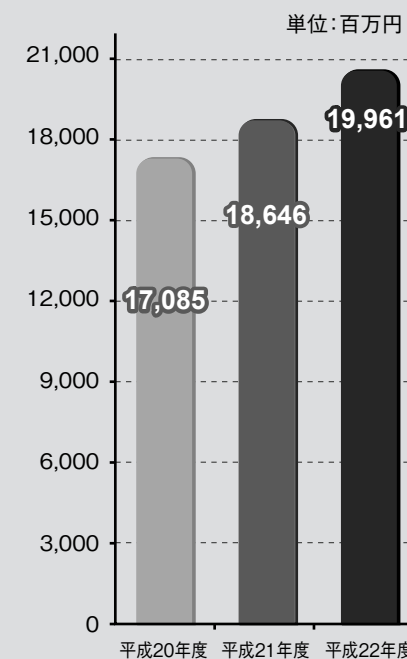
係る補助金を一億六千七百二十万九千円計上したことなどにより前年度比三億七千五百八十八万五千円、四・四%の増額を見込んでいます。

## ◎ 特別会計は約四億円の増

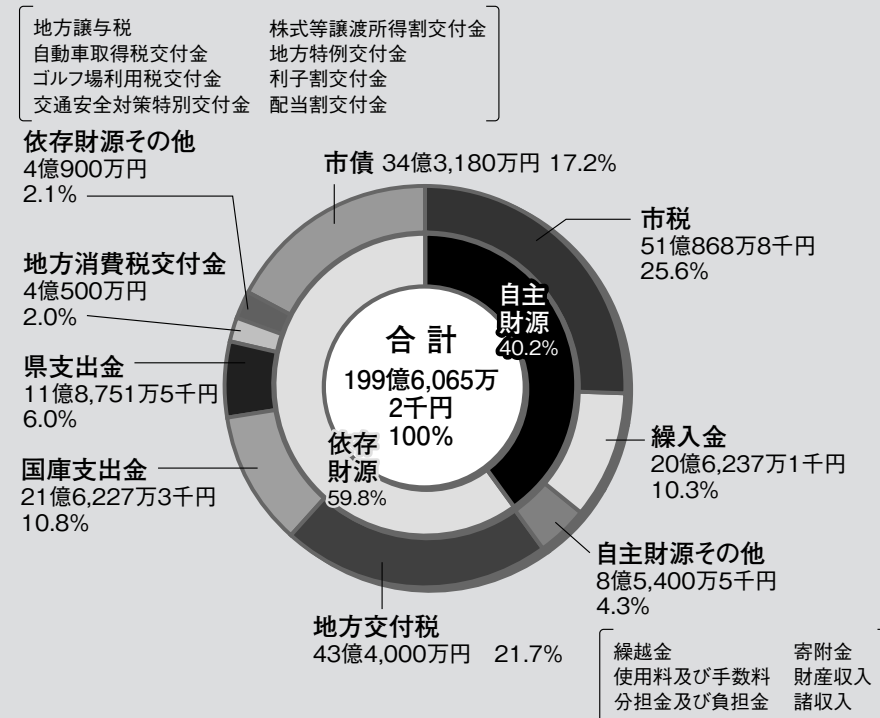
市の会計には、一般会計のほかに七つの特別会計があります。それぞれの予算額は、四ページの表2の通りです。特別会計の合計は前年度比四億二千九百八十三万五千円、三・四%の増額となりました。これは、国民健康保険事業において医療費の増加に伴い、前年度比一億七千六百九十九万二千円、三・二%の増額となったことや、介護保険事業会計(保険事業勘定)においても、給付費が増える傾向にあり、前年度比一億五千九百七十七万五千円、五・〇%の増額となったことなどが挙げられます。

また、今年度から宗像地区事務組合への水道事業の統合により、本木簡易水道事業特別会計と、企業会計である水道事業会計がなくなりました。

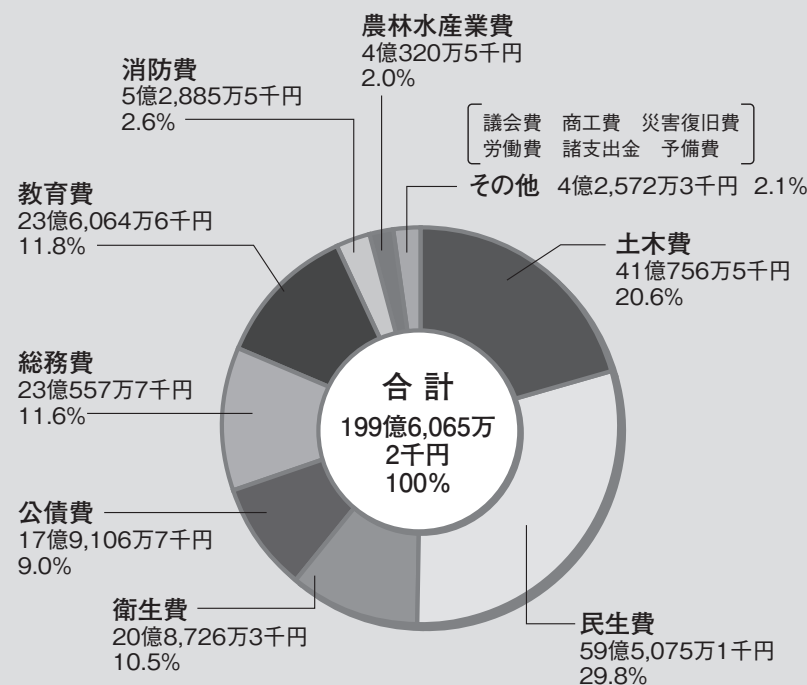
## 一般会計 予算規模の推移



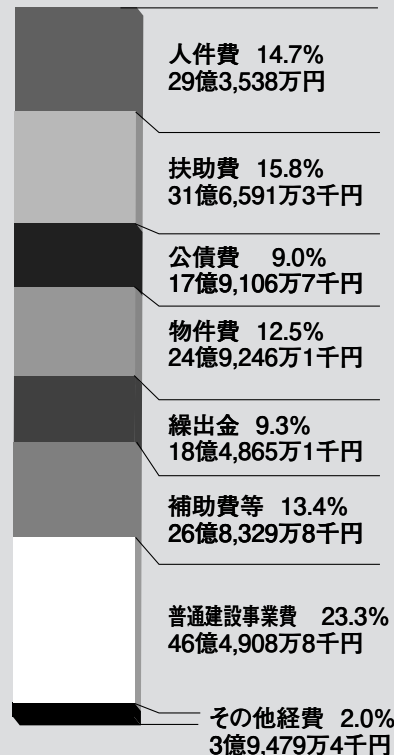
## 一般会計 歳入



## 一般会計 歳出



## 一般会計 歳出



◆市の予算(一般会計)を一般家庭に置き換えてみると(年収480万円で計算) 単位：円

収入の部	
項目	金額
※( )内は市の歳入予算科目	※( )内は1か月当たりの額
給与収入 (市税)	1,228,502 (102,375)
家賃収入 (使用料及び手数料、分担金及び負担金)	124,432 (10,369)
銀行などからの借入金 (市債)	825,256 (68,771)
預金の引き出し (繰入金)	495,945 (41,329)
預金の利子 (利子割交付金、配当割交付金)	7,214 (601)
実家からの援助金 (地方交付税などの依存財源)	2,037,718 (169,811)
土地の売却など (財産収入)	14,873 (1,239)
前年度の残金 (繰越金)	24,047 (2,004)
雑収入 (諸収入、寄附金)	42,013 (3,501)
合計	4,800,000 (400,000)

支出の部	
項目	金額
※( )内は市の歳出予算科目	※( )内は1か月当たりの額
食費 (人件費)	705,880 (58,823)
医療費、教育費など (扶助費)	761,317 (63,443)
ローン返済 (公債費)	430,703 (35,892)
光熱費、電話料金、物品購入など (物件費)	599,370 (49,948)
家の維持補修 (維持補修費、災害復旧費)	34,746 (2,895)
友人への援助金など (補助費等、投資及び出資金、貸付金)	667,144 (55,595)
家の増改築など (普通建設事業費、失業対策事業費)	1,131,588 (94,299)
貯金 (積立金)	13,700 (1,142)
親族への仕送り (繰出金)	444,551 (37,046)
雑費 (予備費)	11,001 (917)
合計	4,800,000 (400,000)

貯金の部	
項目	金額
※( )内は市の基金科目	※( )内は市の基金残額
貯金 (財政調整基金、減債基金、教育施設建設準備基金、まちづくり基金、ふるさとづくり基金)	2,069,541 (86億612万4千円)

借金の部	
項目	金額
※( )内は市の地方債科目	※( )内は市の地方債残高
借金 (合併特例債、臨時財政対策債など)	4,613,958 (191億8,700万2千円)

福津市の貯金と借金

市には一般に支出するお金とは別に、不測の事態に備えたり、特定の事業を行ったりするために蓄えた基金というのがあります。一般家庭で言えば貯金となるものです。また、市がいろいろな事業を行う上で、銀行などからお金を借りて事業を実施することがあります。これは一般家庭で言えば家を買うために住宅ローンを組むことに例えることができます。では、現在、市にどれだけの貯金と借金があるのでしょうか。一般会計で見た基金と市債残高の推移をグラフ5で表してみました。

市債の新規借入れについては今後、大規模事業が完了するため減りますが、それまでに借入れした合併特例債や臨時財政対策債の償還が毎年増加することから、市債残高も平成26年度までの間は、ほぼ右肩上がり増加する見込みです。基金については、平成21年度に市債の繰上償還に伴い、市債の返済に充てる減債基金を約4億円取り崩しましたが、平成22年度以降は実施計画事業を推進するために、主に教育施設建設関連に充てる教育施設建設準備基金とまちづくり全般に充てるまちづくり基金を取り崩す予定で、全体でも徐々に減少していく予定です。

問い合わせ

市財政課財政係(福間庁舎) ☎ 43・8114

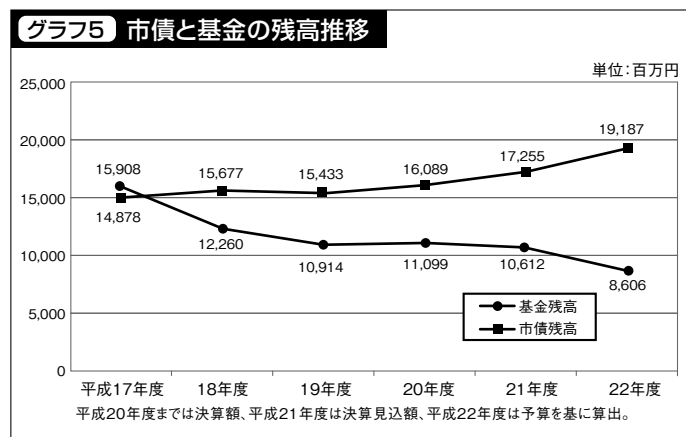


表1 平成22年度予算の主な事業別予算額

事業名称	予算額(千円)	事業名称	予算額(千円)
◆ 行政経営へと変革する			
庁舎改修	233,674	収納強化	5,526
津屋崎庁舎再生整備	12,426	行政経営推進	2,550
JR福間駅公共スペース管理	4,899		
◆ みんなの力で地域自治をすすめるまち			
郷づくり推進	24,360	古墳公園史跡等購入	302,668
津屋崎千軒チャレンジ館運営	2,483	世界遺産登録活動	11,638
文化会館改修	69,145		
◆ 子どもが夢を持ち、健やかに育つまち			
小学校給食施設整備	430,970	子ども手当支給	859,839
小学校施設大規模改造	228,567	妊産婦健診	20,863
認可保育所定数確保	175,826	学校運営協議会推進	20,781
◆ みんなが安全に、安心して暮らせるまち			
介護基盤緊急整備	101,500	食育推進	1,501
男女共同参画推進	2,887	地域防災行政無線運用	4,817
◆ 自然を大切にしたい美しいまち			
松くい虫防除	55,970	竹尾地区緑地保全	45,000
住宅用太陽光発電システム設置補助	4,000	庁舎省エネルギー対策	99,600
西郷川リバーパス(自然あふれる川づくり)	250,145	公設分別ステーション整備	25,191
◆ みんなにやさしく、快適で住みよいまち			
宮司地区市道整備	65,966	福間駅東土地区画整理	180,988
大型商業施設周辺道路整備	137,183	JR福間駅西口駐輪場整備	105,516
サイン整備	44,700	身障者駐車場屋根設置	27,452
◆ 地域産業を支え、育むまち			
まちおこしセンター管理運営	12,212	中小企業融資制度	35,000
農業用施設整備	45,688	活力ある高収益型園芸産地育成	6,768
観光産業活性化推進	1,168		
◆ 福津ブランドを生み育て、発信するまち			
福津ブランド推進	6,393	国勢調査	22,798
国際交流	2,709		

表2 特別会計

会計名	本年度当初予算額	前年度当初予算額	増減額	増減率
国民健康保険事業特別会計	57億7,346万1千円	55億9,646万9千円	1億7,699万2千円	3.2
老人保健特別会計	412万8千円	1,833万6千円	△1,420万8千円	△77.5
後期高齢者医療事業特別会計	7億9,594万4千円	7億2,646万8千円	6,947万6千円	9.6
介護保険事業特別会計(保険事業勘定)	33億2,302万2千円	31億6,385万2千円	1億5,917万円	5.0
介護保険事業特別会計(サービス事業勘定)	130万8千円	1,631万6千円	△1,500万8千円	△92.0
本木簡易水道事業特別会計	-	551万7千円	△551万7千円	皆減
公共下水道事業特別会計	29億1,894万5千円	28億4,480万6千円	7,413万9千円	2.6
地域し尿処理施設事業特別会計	7,089万5千円	6,953万1千円	136万4千円	2.0
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,767万1千円	3,424万4千円	△1,657万3千円	△48.4
合計	129億537万4千円	124億7,553万9千円	4億2,983万5千円	3.4